

2014 アートマイル国際交流壁画共同制作プロジェクト 報告書

日本学校名[大津市立志賀中学校] 担当教諭名[堤 祥晃] (美術部 10名・2年1組-6組 201名)

交流相手国[セネガル]

海外学校名[CEM Martin Luther KING] 担当教諭名[Cheikh Darou Seck]

■実施教科・時間数について教えてください。

	教 科	単 元 名	時間数
アートマイルに関連した 実施教科・時間数	部活動	自己紹介、テーマ学習	10
	部活動	壁画制作	16
	美 術	バオバブの木を描こう!	1×6クラス

■作品について教えてください。

題 (テーマ)	Mutual Folk Tales
絵に込めたメッセージ	日本の有名な昔話である『竹取物語』のイメージがセネガルの人にも伝わるように、構図や配色を工夫しました。完成作品は、お互いの国の雰囲気が良く表されたものに仕上がりました。



■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成 果	課 題
生徒は、当初セネガルという国がどこにあるのかも知らないような状態であったが、取り組みを通して相手国の文化や自然に興味を持った様子であった。特に食文化では、米を主食にして魚をよく食べるなど共通点も多く、親近感をもっていた。共同学習、行動制作を通して、海外との交流を楽しむことができた。	2年目なので多少スムーズになったのですが、やはり生徒も教師も英語力が低く手間取ることが多かった。また、お互いにメールやフォーラムで返事をすぐに返せないことが多く、スケジュール通りに進めることが難しかった。

■アートマイルに取り組む前と比べて相手国や世界に対しての意識はどう変わりましたか？

児童生徒の意識の変化	教師の意識の変化
今までアフリカというと遠い存在だったようですが、取り組みを通して少し近い存在になったようです。美術部は、どちらかというと引っ込み思案な生徒が多いのですが、来年度もまた取り組みたいという思いを強く持ったようです。	英語でのやりとりに慣れ、抵抗感が薄まったこともあり、相手国とのコミュニケーションを楽しめるようになった。また、取り組みを通じて生徒が変わっていく姿を見て、国際交流の大切さをあらためて実感できた。

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科等
自己紹介	9月	英語で自己紹介を考え、撮影した自分の写真とともにフォーラムにアップする。	撮影、翻訳など楽しみながら取り組んでいた。各自が英文をALTにチェックしてもらいに行ったが、それなりにコミュニケーションをとることができた。	部活動
テーマ学習	10月	日本の文化について、英語で紹介文を作り、フォーラムにアップする。セネガルの文化や自然を調べる。バオバブの木を描く。	自分達でそれぞれ紹介したい日本の文化を見つけ、楽しく取り組んでいた。セネガルの食生活や自然、ファッションに、とても興味を持った様子であった。	部活動 美術科
構図決定	11月	テーマを決め構図について意見交換をする。	相手国とあまり連絡がとれなかったため、こちらでテーマと構図を決めて先方に伝えた。テーマや構図を決める際には、色々と意見を出してしっかりと話し合うことができた。	部活動
壁画制作	12月	美術部員全員が1人1点下絵を考え、投票で原画を決める。少し修正を加えた後、原画を拡大して描き、着色する。	投票の後、選ばれた原案を元にみんなが意見を出し合ってデザインを考えていた。拡大して描く、塗る作業では分担しながら協力して取り組めた。	部活動
鑑賞・振り返り	3月	全員で完成した作品を囲んで鑑賞会を行う。	作品の完成度の高さに満足している様子であった。描かれている物について、生徒同士で色々と会話をしていた。	部活動

■学習目標(つけたい力)と成果(ついた力)について教えてください。

「目標」先生が指導に当たって重視したことをABCで記入 (A:特に重視した B:重視した C:特に重視しなかった)

「成果」先生の手応え (5:とても身についた 4:身についた 3:どちらともいえない 2:あまり身につかなかった 1:身につかなかった)

学習目標・つけたい力	目標	成果	成果についてそう感じた場面・理由
自文化の理解	B	4	自国の昔話を描く際に、建物、背景、配色等を工夫し、『和風』という意識を持って描いていた。
異文化の理解	A	5	セネガルに興味関心を持って、セネガルの食文化、ファッション、スポーツ、自然について熱心に調べていた。
コミュニケーション力 (説明・共感・英語)	C	2	英語は不得意な生徒が多く、翻訳ソフトや英語科教師、ALTなどの助けを借りながら、なんとか取り組んでいた。
情報活用能力 (情報収集・発信)	C	3	情報収集を安易にインターネットに頼ってしまい、内容に深まりがあまり感じられない。
人間関係をつくる (学級内・交流相手)	B	2	制作を通して他学年の部員とも交流できた。相手国とは、子ども同士の交流の機会が充分もてなかった。
協働する力 (役割分担・協力)	A	4	壁画の制作や校内展示物の製作では、役割分担をして、それぞれが自分の役割をしっかりと果たすことができた。
学習を追究する意欲	A	4	美術部、美術科両方とも、ほとんどの生徒は意欲的、積極的に活動していた。
表現力 (伝えたいことを絵で表す)	A	5	『竹取物語』のイメージが伝わるように、構図や配色を工夫しながら、特に『和風』を意識した作品に仕上げることができた。
作品を鑑賞する力	B	3	描かれている物や色彩からセネガルの特徴を感じ、日本との違いなどを話題にして作品を鑑賞していた。